



APPENDIX **A**

Cisco SAN-OS Release 3.2(1) 以前のリリースでの Fabric Manager の起動

この付録では、Cisco SAN-OS 3.2(1) 以前のリリースで Fabric Manager Client を起動する方法を説明します。

この付録の内容は、次のとおりです。

- 「[Cisco SAN-OS Release 3.1\(1\) ~ 3.2\(1\) のシードスイッチの設定](#)」(P.A-1)
- 「[Cisco SAN-OS Release 3.1\(1\) 以前のリリースのシードスイッチの設定](#)」(P.A-3)

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ 3.2(1) のシードスイッチの設定



(注)

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以降、Fabric Manager Client のログイン手順が変更されました。Cisco SAN-OS 3.1(1) 以前の Cisco SAN-OS を実行している場合は、「[Cisco SAN-OS Release 3.1\(1\) 以前のリリースのシードスイッチの設定](#)」(P.A-3) のログイン手順に従ってください。

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ Release 3.2(1) では、ファブリックを検出する前あるいはファブリックに接続する前に Fabric Manager Server にログインする必要があります。ファブリックには異なるユーザクレデンシャルを設定できます。Web Server のスイッチごとに異なる SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) コミュニティを指定できます。



(注)

初回ログイン時のデフォルトのユーザ名は **admin**、デフォルトのパスワードは **password** です。この情報はデータベースに保存されています。Fabric Manager Server と Web Server は同じユーザクレデンシャルデータベースを使用します。

Fabric Manager Server にログインしてファブリックに接続する手順は次のとおりです。

ステップ 1

ワークステーションの [Fabric Manager Client] アイコンをダブルクリックします。
[Fabric Manager Server Login] ダイアログボックスが表示されます (図 A-1 を参照)。

図 A-1 [Fabric Manager Server Login] ダイアログボックス



ステップ 2 FM Server に、Fabric Manager Server がインストールされたマシンの IP アドレスを設定します。Fabric Manager Server をローカルワークステーションにインストールした場合は、**localhost** を設定します。

パスワードを忘れた場合は、次のいずれかのスクリプトを実行します。

- **bin\webUserAdd.bat admin password** を実行すると、データベースにユーザ名とパスワードが追加されます。
- **bin\DBReset.bat** を実行すると、データベースを初期状態に戻して検出したファブリックを削除します。

どちらのスクリプトも UNIX の .sh ファイルとして保存されています。

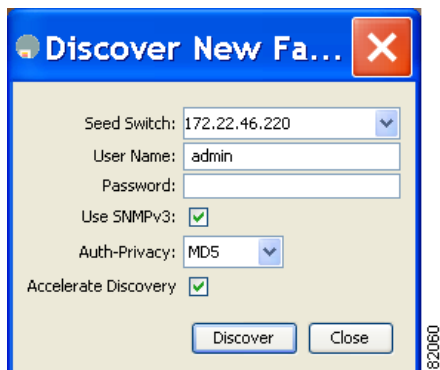
ステップ 3 Fabric Manager Server のユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ 4 Fabric Manager Client が TCP ベース プロキシサーバを介して Fabric Manager Server と通信するように設定する場合は、[Use SNMP Proxy] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [Login] をクリックします。Fabric Manager Server に正しくログインしたら、シードスイッチを設定してアクセス権があるファブリックを開きます。

図 A-2 に示すように、[Discover New Fabric] ダイアログボックスが表示されます。

図 A-2 [Discover New Fabric] ダイアログボックス



ステップ 6 Fabric Manager で使用する Cisco MDS 9000 ファミリスイッチにファブリックシードスイッチを設定します。

ステップ 7 スイッチのユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ 8 ログイン時には [Auth-Privacy] オプションで [MD5] (デフォルト) を選択します。

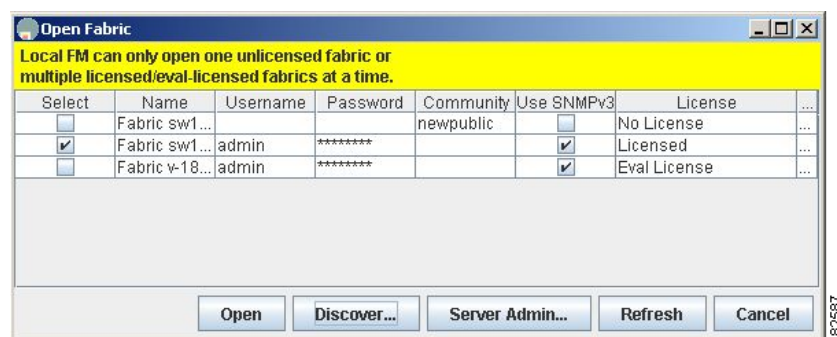


(注) 通常は [Accelerate Discovery] チェックボックスはオンのままです。スイッチ IP アドレスを変更した場合にだけ、チェックボックスをオフにします。このチェックボックスをオフにして Fabric Manager で SAN ID を使用するとエラーが発生します。

ステップ 9 [Discover] をクリックします。

[Open Fabric] ダイアログボックスが表示されます (図 A-3 を参照)。

図 A-3 [Open Fabric] ダイアログボックス



ステップ 10 [Select] カラムで接続先ファブリックの隣にあるチェックボックスをオンにします。または [Discover] ボタンをクリックして新しいファブリックを追加します。



(注) Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以降では、複数のファブリックに接続するにはライセンスが必要です。ライセンスのないファブリックを複数開くとエラーメッセージが表示されます。



(注) Cisco SAN-OS Release 3.1(2b) 以降、ライセンスには、永久ライセンス、評価ライセンス、ライセンスなし (すべての評価ライセンスが期限切れ) があります。

ステップ 11 [Open] をクリックして、ファブリックに接続します。

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前のリリースのシードスイッチの設定



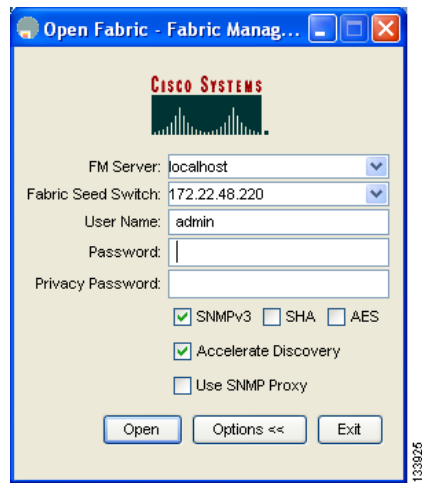
(注) Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以降、Fabric Manager Client のログイン手順が変更されました。Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ 3.2(1) を実行している場合、「Cisco SAN-OS Release 3.1(1) ~ 3.2(1) のシードスイッチの設定」(P.A-1) のログイン手順を実行します。

Fabric Manager を実行する場合は、Fabric Manager のスイッチを選択してファブリックを検出します。Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前のリリースでは、接続するファブリックごとに同じユーザ名とパスワードを使用し、Fabric Manager を使用する MDS 9000 ファミリ スイッチに直接ログインします。

Cisco SAN-OS Release 3.1(1) 以前の Cisco SAN-O を実行してシード スイッチを設定する手順は次のとおりです。

- ステップ 1** ワークステーションの [Fabric Manager Client] アイコンをダブルクリックします。
 A-4 に示すように、[Fabric Manager Login] ダイアログボックスが表示されます。

図 A-4 [Open Fabric] ダイアログボックス



- ステップ 2** このダイアログボックスのオプション設定が必要な場合は、[Options] ボタンをクリックします。
- ステップ 3** FM Server に、Fabric Manager Server がインストールされたマシンの IP アドレスを設定します。Fabric Manager Server をローカル ワークステーションにインストールした場合は、**localhost** を設定します。
- ステップ 4** Fabric Manager で使用する MDS 9000 ファミリ スイッチにファブリック シード スイッチを設定します。
- ステップ 5** スイッチのユーザ名とパスワードを入力します。
- ステップ 6** Fabric Manager Client が TCP ベース プロキシサーバを介して Fabric Manager Server と通信するように設定する場合は、[Use SNMP Proxy] チェックボックスをオンにします。



(注) 通常は [Accelerate Discovery] チェックボックスはオンのままです。スイッチ IP アドレスを変更した場合にだけ、チェックボックスをオフにします。このチェックボックスをオフにして Fabric Manager で非同期 SAN ID を使用するとエラーが発生します。

- ステップ 7** [Open] をクリックして、ファブリックに接続します。